

# 市長への政策提言

令和2年9月30日、曾於市農業委員会は、地域農業振興のため、農業者の声を集約して、農業政策に関する政策提言を市長に提出しました。

## 1. ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の被害防除対策について

ジャンボタニシによる稲の食害が市内全域に広がりつつあります。

個人で冬季に耕運したり、植え付け時に浅水管理をするなどの対策や多面的機能支払交付金制度の活用による防除など、各々で対策を講じていますが、防除対策がジャンボタニシの増殖に追い付かず、被害は年々広がっています。被害が広がっている理由として、①タ

ニシが生息している圃場の土壌を、災害復旧時に、非生息圃場へ移動したため。②農業機械（田植え機や耕運機など）を生息圃場から、非生息圃場へ移動し、農作業を行ったため。の二つの大きな理由があります。

この2点を早急に改善するために、市が中心となり、ジャンボタニシ被害防除対策チームを作り、被害を軽減するための効率的な防除対策をまとめたチラシやパンフレットを作成し、圃場主や耕作者、農作業を請け負う個人や団体に配布することと、薬剤購入補助金の検討を要望します。



## 2. 農業用廃プラスチック処分料に対する助成及び生分解性マルチ購入補助導入について

現在、甘藷・ハウス・飼料作物等のラップビニールや肥料等の袋など様々なビニール製品を使用し、農家にとって農業用ビニールは必要不可欠なものです。しかしながら、一昨年度から農業用廃プラスチック等の処分料が大幅に値上がりしており、農家への負担は大きく、今後山林等への不法投棄や不法焼却等が懸念されます。

また、生分解性マルチは、通常マルチより2倍近い価格ですが、生分解性マルチの活用により作業効率アップや、農作業の労力の軽減化が図れることから、農家の財政面での負担軽減や作業の効率化、並びに環境保護等の観点からも生分解性マルチ購入補助金及び処分料に対する助成金の増額を検討下さるよう要望します。

また、県・国に対し、農家の負担が軽減できる処分方法の検討を要請していただきたいと思います。

※現在の処分料に対する補助金額 15円/kg

処分料 33円/kgのうち、個人負担が18円/kgで、市が15円/kg負担

## 3. 甘藷農家に対する対策について

本市の畑作面積の約6割は、甘藷を作付けされています。しかし、近年甘藷

農家に対し、酒造メーカーからは減反を要請されており、また基腐病の発生等、作付けされている農家は危機的状況に直面しています。これ以上の減反要請や作付が出来ない状況が続くと、すでに田の荒廃が進んでいる状況の中で、甘藷農家による利用権の合意解約が増加しつつあり、畑の荒廃も大変心配しています。県によると、大隅地区、特に曾於地域は本県有数の畑地帯であり、食料供給基地として重要な農業地帯と重要視されており、この畑地帯を存続させていくことを考慮すると商品価値のある新たな作物への転換期ではないかと考えます。

そこで、行政がリーダーとなり、本市の土壤に合った作物は何か、適地作物の選定をしていただき、その作物に関する専門協議会を立ち上げ、各地区の農家代表を選出し、畑かんセンターの職員や農協の営農指導員などと意見を交換しつつ、早急に甘藷に代わる、曾於市の特産品となり得る商品価値のある作物を提案していただくよう要望します。なお、選定を行う際には、鳥獣被害対策等も考慮していただきたいと考えます。

#### 4. 畜産振興に対する支援について

平成29年度宮城県で開催された全国和牛能力共進会において、鹿児島県の悲願であった総合優勝（団体賞）を果たし、畜産農家にとってはこの上ない輝かしい成果を上げ、令和4年度に鹿児島県で開催される共進会に向けて、より一層の活躍が期待されるところであります。

しかしながら、畜産農家の高齢化が進み、繁殖農家の減少が危惧される中、曾於市の基幹産業である畜産による生産額の減少も同時に懸念されています。

また、高齢者にとっては、粗飼料の生産・収穫に大変苦勞されているため、農業公社が中心となり、牧草等を生産・販売するコントラクター制度の活用やTMRセンターの設立など、高齢者畜産農家や小規模の畜産農家への負担が少しでも軽減できるような対策を検討して下さるよう要望します。

曾於市畜産振興基金の貸付限度額については、自家保留も育成牛導入と同額の貸付限度額になるよう要望します。

各種補助金等については、曾於市畜産振興協議会が中心となり、様々な手法で充実されつつありますが、今後も安心して畜産経営が出来るように引き続きこれまで以上の支援策の検討を要望します。

今年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、畜産業をはじめ、様々なところに悪影響が及んでいます。そのため、今後の農家の生活及び、次世代を担う後継者等が安心して農業に取り組める施策の検討も要望します。

#### 5. その他

これまでに要望した、鳥獣対策、口蹄疫・鳥インフルエンザ等の畜産に関する防疫対策、また山林を伐採した後の造林をする際に緩衝地を設けることや、光回線・5Gなどの通信網対策等については、継続した取組を要望します。